

平成27年10月6日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成27年度 第2回 教育文化・環境清流合同部会

◆ 10月6日(火)、美しい多摩川フォーラムの平成27年 第2回 教育文化・環境清流合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成27年10月6日(火) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 教育文化・環境清流合同部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 経過報告 ※はビデオ放映
 - (1) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)下刈りイベント開催(7/4)【資料1】
 - (2) 多摩川っ子(第8号)発刊(7/6)【資料2】
 - (3) 多摩川“水”大学講座開催(7/17、9/18)
 - (4) 「粕江古代カップ第25回多摩川いかだレース記念大会」参加(7/19)※【資料3】
 - (5) 第8回・子どもカヤック体験教室開催(7/25)【資料4】
 - (6) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成27年度総会開催(7/22 青森県)【資料5】
 - (7) 東京都・地域資源発掘型実証プログラム事業企画案採用決定(7/30)【資料6】
 - (8) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/2)【資料7】
 - (9) 第7回・炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/21)【資料8】
 - (10) 第3回・大人のカヤック体験教室開催(8/29)【資料9】
 - (11) 第2回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて(9/1～)【資料10】
 - (12) 東急百貨店より第6回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(9/29)【資料11】
 - (13) 第8回・たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/4)
 - (14) 「東北・桜サミット開催」に関する記者発表(10/5)【資料12】
 - (15) 多摩川“水”大学講座開催(10/16、11/20)
 - (16) 第7回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/7、11/14)【資料13】
 - (17) 第8回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/5)【資料14】
 - (18) 御岳・冬物語開催(12/11)【資料15】

4. 意見交換

- (1) 「多摩の物語」の今後の取り組みについて
- (2) 美しい多摩川フォーラム・10周年（平成29年度）記念事業について
- (3) その他

5. 部会長総括

6. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成27年度第2回教育文化・環境清流合同部会を始めさせていただきますと思います。始めに当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日はボサノヴァ・バージョンをお聞き下さい（DVD視聴）。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

（公益財団法人 東京市町村自治調査会 参与 石井 恒利 様）

石井と申します。この8月で自治調査会の参与になりましたが、その前は、東京都市長会事務局の事務局長をやっておりました。その頃から美しい多摩川フォーラムの話は聞いておりましたが、なかなか参加できず、今日に至っております。当時は自治調査会の理事も兼務しており、ネットワーク多摩にもお世話になりましたので、多摩と深く関わっておりました。市長会の事務局長に就任する前は、東京都の都市整備局におりまして、道路や都市基盤の整備をやっておりました。当時の石原知事の命令で、多摩川の沿道にサイクリングが出来るようなルートを作りました。羽村市から羽田の河口まで50キロありますが、距離表示と案内を作りました。全てのルートを川沿いに作る事が出来ず、立川辺りでは敷地の問題もあり、避けなければならない所もありました。子どもの頃から多摩川にはしょっちゅう遊びに行っていましたし、渋谷区に住んでいるので、小田急線で多摩川べりに行って、アユを釣ったりしていました。最近では、自転車で、自分が作ったルートを、羽村の堰から羽田まで走ってみました。これからも、何かお役に立てることがあればよろしく願いいたします。

（調布市 環境部環境政策課 環境保全係 主事 下妻 大輔 様）

下妻と申します。私は今年の4月に調布市役所に入庁し、経験が浅いのですが、このような場に参加させていただきましたので、勉強しながら、何かお役に立てるようになりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

（富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発課長 梶田 俊樹 様）

梶田と申します。保険会社と言いますと、集めたお金を中央や海外で運用したりし

ているので、何か地元で貢献できることはないかと考えていたところ、青梅信用金庫さんからお誘いをいただき、今回から参加させていただくことになりました。よろしくお願ひいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、本日は教育文化部長であります平野副会長が、ご公務のため、欠席となります。はじめに、渡邊環境清流部会長よりご挨拶をよろしくお願ひします。

2. 部会長挨拶

(渡邊部会長)

第2回目となる合同部会にご出席いただき、有り難うございます。9月には、台風17号、18号による茨城県、栃木県等に大きな災害がありました。また、9月14日には阿蘇山の噴火等、自然災害が多くなっております。世界に目を向けると、シリアの難民問題など、大変な状況にあります。しかし、暗い話ばかりではなく、今日は大村氏のノーベル医学・生理学賞という明るい話題で一色になり、我々に勇気を与えてくれました。大村氏のこれまでの努力に対し、感謝したいと思います。美しい多摩川フォーラムも、地域の発展のために、皆様と共に頑張ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

3. 経過報告

(事務局)

はい、経過報告に入る前に、本日は、6月に実施した多摩川一斉水質調査の濁度、色度について、ようやく纏まりましたので、お取り纏めいただいた渡邊部会長より、簡単にコメントをいただきたいと存じます。その前に、多摩川一斉水調査をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。(ビデオ放映)

(渡邊部会長)

それでは報告させていただきます。6月の多摩川一斉水質調査は、多摩川フォーラム発足当時から測定しており、当初はCOD値を測定していました。その後、とうきゅう環境財団から助成金をいただき、電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンを測定してきました。今年は、濁度と色度を測定しました。河川の環境基準の中には濁度と色度はありませんが、飲料水基準にはあります。多摩川上流では、飲料水として水を採取していますので、そういう面では濁度、色度が大変重要な項目となります。濁度について簡単に説明しますと、水の濁りの程度を示すものです。台風が来ると、川の水が汚れますが、以前、台風が去った後半年間も水が濁り続けていたこともありまし

た。9月9日の台風でも、青梅市河辺町付近の川では、完全にきれいな水になるまで3週間かかっています。河川や湖沼において濁りの原因となる物質は、粘土製物質です。非常に粒子が小さいコロイド状態なので、沈殿しません。その他、プランクトン、微生物および不溶性有機性物質が濁りの原因になります。雨が降ると土石が流れるので、一時的に濁ります。その他、多摩川には大きな都市下水が10ヵ所設置されているので、それらも濁りの原因になっていると思います。濁度の大きい水では、病原性微生物、水に存在する粒子に吸着された有害な無機物質や有機物などの健康に影響を及ぼすものが含まれていることを考慮しなければなりません。水道法に基づく水質基準は2度以下になります。我々が調査した地点の44番までは2以下になっています。測定方法は、一般の市民団体が測定するので、こういった簡単な濁度・色度計を使います。透過法測定法を用い、光を溶液に当て、散乱または吸収する方法を使います。測定波長は877メートルです。可視光線が380～750ですから、赤よりも赤外に近い光を当てて測定します。

次に色度について説明します。色度とは、水中に含まれる溶解性物質及びコロイド性物質が呈する類黄色ないし黄褐色の程度を数値で表したものです。なぜ黄色や黄褐色になるかという、着色の大きな原因は、樹木のセルロースやリグニンが酸化される過程でフミン酸となるからです。フミン酸は有害なものではありませんが、上水道では塩素消毒していますので、塩素とフミン酸が反応してトリハロメタンという有害物質が生成されますので、トリハロメタンは出来るだけ無い方が良いのです。水道法に基づく水質基準では5度以下となっています。色度の測定波長は397メートルで、可視光線と言うと紫に該当します。この光を当てると補色が吸収されますので、その吸収度合を見ていきます。

それでは、本川濁度のグラフをご覧ください。3番・留浦を除く採水地点45番までは基準を満たしていますが、46番・くじら公園で数値が少し高くなっています。61番・石田大橋東で再度数値が高くなり、74番・大師橋下川崎側でかなり高くなっています。これについては、実際に現地で採水していただいた山崎教育文化副部長にコメントをいただきたいと思います。

(山崎副部長)

私は最下流の10地点の採水を担当しております。74番は干潟なので、潮が引いて波が立つと、泥が舞い上がって水が濁ります。では何故すぐそばの73番の濁度が低いのでしょうか。ここはコンクリートで固められているからです。数字が高いから汚いということではありません。濁っていない73番よりも、水が濁っている74番の干潟のほうが、魚が沢山います。下流は事情が特殊であるをご理解ください。

(渡邊部会長)

有り難うございました。3番・留浦についてですが、こちらの写真をご覧ください。見ただけで濁っているのが分かると思います。これは粘土と、窒素リンが少し高くなっていて緑藻が出ているのかもしれませんが。

次に本川色度のグラフをご覧ください。3番・留浦は基準値ギリギリのところですが、45番・JR八高線鉄橋下から数値が急に高くなっていますが、下水処理が原因ではないかと思われます。400万人の多摩圏民の下水処理水が多摩川に入ってくるので、これは止むを得ないと思います。

次に支川濁度のグラフですが、ほとんど数値が低く、きれいであることが分かります。しかし59番・狭山池公園で数値が異常に高くなっています。ここは池なので、大雨になると、砂利や粘土で濁りやすくなっています。色度のグラフを見ても、やはり59番・狭山池公園が非常に高くなっています。こちらが狭山池の写真です。水が循環していれば濁度や色度の数値も低くなると思いますが、このように滞留していると数値が高くなってしまうということが分かりました。

これら75地点の濁度と色度のデータは東京都でも調査していないと思いますので、大変貴重なデータだと思います。来年以降も調査を続け、経年変化を見ていきたいと思えます。

(事務局)

有り難うございました。なお、データの詳細につきましては、美しい多摩川フォーラム公式ホームページ上に掲載しましたので、関心のある方は、ご覧いただけたらと存じます。

それでは、経過報告に移ります。前回6月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(4)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(6)「東北・夢の桜街道推進協議会」平成27年度総会開催(7/22 青森県)【資料5】

- ・ **【資料5】**をご覧ください。本年7月22日、平成27年度総会が青森県青森市で開催され、平成27年度も、当フォーラムより同協議会へ2,000,000円の拠出金が承認されました。

(7) 東京都・地域資源発掘型実証プログラム事業企画案採用決定 (7/30) 【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。このような内容で、企画案が承認されました。現在、東京都が事業主体を募集中です。いずれモニターツアーの募集が実施され、来年の3月5日～6日にかけて実施する予定です。なお、上限金額は1,000万円になります。本日、席上配布させていただいたニッキンの新聞記事につきましても、後ほどご覧いただければと思います。

(9) 第7回・炭焼き体験と水辺の交流会開催 (8/21) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。毎年、青梅市さんと連携して開催しておりますが、非常に人気のあるイベントとなっております。今の小学校では、「川に近づくな」教育を行っており、親も川の怖さが分からない状態です。そういった中、親子で川の安全学習と共に、炭焼き体験、魚のつかみ取り等も行っています。本件につきましては、山崎教育文化副部長より一言お願いします。

(山崎教育文化副部長)

毎年恒例の事業で、募集するとすぐに一杯になってしまうイベントです。リピーターの子どもたちも多いですし、その子どもの友達や近所の子どもなど、参加者にどんどん膨らみが出ています。もっと人数を増やしたいところですが。命の大切さ、自然の大切さを学べる、多摩川にどっぷりと浸かれる直接的なイベントだと思います。このイベントは、毎年雨が降ります。しかし子どもたちは気にしません。それがまた楽しい思い出になると思います。私も毎年楽しみに指導をしております。

(11) 第2回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンについて (9/1～) 【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。この秋のチラシになります。昨年秋に对外公表し、大きな反響がありました。今回はチラシを少しリニューアルしています。JR東日本八王子支社さんと連携し、チラシ2万枚のうち9千枚を、八王子支社管轄の駅に設置してもらいました。また、大多摩観光連盟さんが発行する大多摩四季報にも広告を掲載していただきました。はとバスさんでも商品化されました。去年もツアーが8回催行され、のべ290人が参加されたそうです。この数字は、ヒット商品の部類に入るそうです。今年も秋の中核商品として販売するそうです。次のページはJRさんのお座敷列車ですが、今年6月に開催され、120名が参加されました。また、「青梅・五日市線の旅」パンフレットの中でも多摩川酒蔵街道が紹介されています。本件につきまして、今回の“多摩川酒蔵街道”のキャンペーンにあたり、5歳を取り纏めていただいた、小澤運営委員より一言お願いします。

(小澤運営委員)

文化遺産になると人が沢山集まります。文化遺産はすなわち観光施設であるということです。酒蔵も、文化施設であると同時に観光施設でもあるということが広く認識されてきたと思います。奥多摩の溪谷を旅しながら、酒蔵に足を延ばすことが、酒好きの方々には面白い企画になっているようです。東京には9蔵の酒造があり、そのうちの5蔵は西多摩に集中しています。東京の酒処とうたっても間違いではないだろうと思います。そうは言ってもまだまだ皆さんに存在を知られていませんので、東京の酒処が西多摩に5蔵あるんだということをPRし、地元の方にも大きな資産であると感じてもらいたいと思います。今後も皆さんに喜んでいただけるよう、頑張っていきたいと思います。

(12) 東急百貨店より第6回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈 (9/29) 【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。平成27年9月29日、株式会社東急百貨店本社にて、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部432,516円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。因みに贈呈式には、細野会長にご出席いただきました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

(13) 第8回・たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK開催 (10/4)

- ・ 今年は10月4日に大田区民有志により、地元の中学生ほか約70名が参加され、フォーラム事務局も大田区丸子橋から一緒にスタートし、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走しました。なお、イベント当日に集まった桜の植樹募金は、後日改めて大田区から当フォーラムに贈呈される予定です。

(14) 「東北・桜サミット開催」に関する記者発表 (10/5) 【資料12】

- ・ 【資料12】をご覧ください。当フォーラムの事務局長であり、協議会事務局長でもある宮坂が、昨日から山形に出張しており、山形県庁の記者クラブで「東北・桜サミット」の記者発表を行いました。「東北酒蔵街道」についてもイベント当日に発表を行います。

(16) 第7回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11/7、11/14) 【資料13】

- ・ 【資料13】をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンのチラシです。第1回目は5団体からスタートし、6回目となる昨年度は25団体が連携団体として名を連ねています。今年度は、御岳登山鉄道株式会社様、株式会社キャリア・ママ様、富国生命保険相互会社立川支社様が新たに参加

される予定です。なお、ポスターにつきましては、今月中に各連携先に配布する予定です。

(17) 第8回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/5) 【資料 14】

- ・ 【資料 14】をご覧ください。今年は、現在のところ、6組が確定しております。最終的には10組を目標に、各参加団体と調整中です。本件につきまして、山崎副部長、何か補足はございますか。

(山崎副部長)

毎年子どもたちが自主的な研究発表を行っています。非常に高度な発表内容から、作文を読むだけのものまで多岐にわたっています。場所はフォレストイン昭和館です。一流ホテルのふかふかの絨毯の上で、普段出来ないようなことができる発表会です。皆さんのお知り合いの子どもたちや学校関係者にぜひ声をかけてください。子どもたちに表舞台に出るチャンスを与えてあげたいと思っています。発表後には、「みんなの発表誌」という立派な冊子を作ります。これを私立学校のお受験で見せると、ほぼ受かっています。自主的な発表をすることは、特に私立学校では有利なようです。子どもの自主的な活動を大人は見守るという姿勢が良いと思っています。発表内容がマンネリ化しつつあるので、新たな発表があれば良いと思っています。ぜひまわりのお子さんに声を掛けて下さい。

(18) 御岳・冬物語開催 (12/11) 【資料 15】

- ・ 【資料 15】をご覧ください。こちらは本年度の新規事業で、これまでに皆様から様々なご意見をいただきました。その中で実施可能なプログラムを検討し、平野副会長との日程調整を経て、このような形で第1回目をスタートすることとなりました。お昼時にお集まりいただき、御岳山の宿坊「御岳山荘」で「多摩の物語」の語り会を実演していただきます。その後、御岳の御師料理を堪能していただきます。11月16日から受付を開始しますので、お早めにお申込みをお願いいたします。経過報告は以上です。

(渡邊部長)

事務局からの経過報告で、他にご質問などございますか。ないようですので、意見交換に進めます。

(山崎副部長)

冬物語の内容については、私も以前御岳山で夜を過ごしたことがあります。高尾山より100倍夜景がきれいです。せっかく空気の澄んだ御岳山に登り、3千円かか

るのであれば、もう少し値段を上げて1泊してはどうでしょうか。ただ夜景を見るだけではつまらないというのであれば、私がムササビ見学に連れて行きます。2週間前に高尾山に登ったら、すでにムササビが飛んでいました。せっかく登るのであれば、自然も一緒に味わってもらいたいと思います。

(事務局)

おっしゃる通り、去年からそういったご意見もいただいておりますが、今回についてはトライアルということで、実現できるところからやってみるということで、ご理解をお願いいたします。

(渡邊部会長)

今後の経過を見ながら内容を検討していくということです。他にご意見などございますか。

(大崎様)

大崎と申します。エコネット羽村という環境団体に活動しております。先日の西多摩新聞にも掲載されましたが、いま日本の竹林が放置され問題になっています。これらを炭にすることで、色々なものに活用できるようになります。炭焼き体験と水辺の交流会では竹炭を作っているようですが、竹炭はその日のうちにできません。子どもたちは、自分で作ったものをその日のうちに持ち帰ることができません。我々がやっている炭作りは特殊な方法で、消し炭作りです。その日のうちに水をかけて炭をすぐに使えるようになります。ちょっとした経験からくる助言でした。

(渡邊部会長)

有り難うございました。他にご意見などございますか。ないようでしたら意見交換に進みます。

4. 意見交換 (副部会長)

(渡邊部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(1) 「多摩の物語」の今後の取り組みについて

(事務局)

本日は平野部会長が欠席されていますが、「多摩の物語」の冊子を回覧しますので、経緯を説明しながらご意見をいただきたいと思います。こちらは平成23年度～24年度の2カ年にわたり、農林水産省関東農政局の食と地域の交流促進対策交付金を活

用し、青梅・あきる野・奥多摩に足を運んで、実際に見たこと聞いたことを物語にし、地元の食も発掘してまとめたものです。平成24年度には、立川グランドホテルで発表会を行いました。平成25年度には、当フォーラムの予算で冊子を作りました。平成26年度～27年度にかけては、とうきゅう環境財団の助成金を活用し、羽村・八王子・日野・小平・小金井・三鷹・多摩・府中・調布・狛江・大田・川崎の物語を発掘し、今年3月に羽村で発表会を行いました。その内容を今年度冊子化している最中です。12月11日に開催する御岳・冬物語では、1回目にまとめた物語と2回目にまとめた物語の両方を発表する予定です。今年度2冊目が出来ませんが、今後、どんな形で広げていったら良いのか、普及させていけば良いのか、今後の方向性についてご意見がございましたらよろしくお願ひいたします。その前に、とうきゅう環境財団の常務理事で事務局長でもあり、環境清流部会の副部長でいらっしゃいます小野木様に、「多摩の物語」の評価を含め、ご意見をお願いいたします。

(小野木副部長)

いま改めて、本になっている「多摩の物語」を拝見しましたが、助成金の報告書を読むのとはまた違い、中身に引き込まれていく印象を受けました。これに何か絵をつけて、子ども向けの絵本にしたらどうかと思いました。私たちのほうでまたお手伝いできることがあればと思いますので、掘り起こし、まとめの次に、発表して皆さんに知ってもらう方法を、皆で知恵を出し合って進めていければと思いました。

(渡邊部長)

それでは、皆様からのご意見、ご質問がありましたらお願いします。

(山崎副部長)

質問ですが、「多摩の物語」の冊子はどこかに配布をしたのでしょうか。まだしていませんでしょうか。

(事務局)

この冊子は平成25年度に作成しましたので、配布はしております。

(山崎副部長)

どこに何冊くらい、どういう風に配布したのでしょうか。

(事務局)

予算の関係で、発行部数は1000冊のみのため、限られた中で、行政、教育関係者を中心に配布しました。フォーラム会員の皆さんにも配布しました。

(山崎副部長)

配布する際にお金がかかっていると思いますので、アンケートのようなものを同封し、フィードバックを得られたのでしょうか。ただばら撒いても、続ける意味があるのか疑問です。初めて読む人がのめり込めるかどうか、学校に配っても子どもたちが読むかどうか。小野木さんがおっしゃるように、子どもたちが読みたい、見てみたいと思えるようなものにしていかないと、作る側の自己満足に終わってしまいます。

(事務局)

有り難うございました。おっしゃる通りの部分もあると思いますが、事務局のマンパワーの問題で、そこまで手がまわっていないというのも事実です。しかしながら、自己満足で終わらないよう、検証して参りたいと思います。

(渡邊部会長)

有り難うございました。時間も押しておりますので、これだけは話したいということがありましたらお願いいたします。無ければ、次に進みます。事務局から説明をお願いします。

(2) 美しい多摩川フォーラム・10周年（平成29年度）記念事業について

(事務局)

フォーラムは平成29年度に10周年を迎えます。皆さんからご意見を伺いたいのですが、事務局で考えているのは、「多摩川カヌー駅伝大会」、10周年記念シンポジウム、多摩川夢の桜街道の札所の見直し、美しい多摩川フォーラムの森での桜植樹イベント等です。その他、何かご意見などございましたらよろしくお問い合わせいたします。

(渡邊部会長)

ただいまの説明に対し、ご意見ご質問があればお願いします。

(福本様)

奥多摩周遊道路を利用し、夜間の夜空散歩はいかがでしょうか。奥多摩周遊道路の夜間開放が可能であれば、規定を設けて夜空の散策ならびにファミリー層をターゲットとした解説付きのミニツアーはどうでしょうか。概要を作成し、部会で具体的な協力先を模索するというのはいかがでしょうか。御岳山荘ならびに更に源流の宿泊施設の利用促進に繋がります。3世代を繋ぐことが具現化していくと思います。

(事務局)

ご指名で恐縮ですが、東京市町村自治調査会の石井様、アドバイスやご意見等が

ございましたらよろしくお願いいたします。

(石井アドバイザー)

多摩川に縁深く関わっている市民はそれほど多くないのではないのでしょうか。昔に比べてきれいになってきた多摩川を数値だけではなくPRするにはどうしたら良いのかと考えています。法人会員のJR東日本が「中央線が好きだ。」というキャンペーンをやっていますが、多摩川に関する情報も流してくれれば、通勤客も見えてくれるのではないかと思います。

(渡邊部会長)

有り難うございました。その他ございますか。無ければ次に進めます。事務局から説明をお願いします。

(3) その他

(事務局)

「多摩の物語」の冊子ですが、本日何冊かご用意しましたので、興味のある方はお持ち帰りください。

5. 総括・閉会（部会長）

(渡邊部会長)

今日も事務局から経過報告をしてもらいましたが、大変充実していると思います。東京都地域資源発掘型実証プログラム事業企画案については、大変だと思いますが、頑張ってくださいと思います。酒蔵街道も大変人気があるようです。今後ますます発展してほしいと思います。また、東急百貨店からの寄付金は、大変有り難いお話です。今後の予定としては、多摩川子ども環境シンポジウムがあり、発表者が不足しているようなので、ぜひ皆さんからも参加の呼びかけをお願いします。御岳・冬物語もぜひ成功させてください。意見交換では、「多摩の物語」の今後の取り組みに関して、また、フォーラム10周年記念事業については、今後も事務局のほうにご意見をお寄せ下さい。それでは、本日の合同部会を終了します。有り難うございました。

以 上